

今号も充実した内容となった。前々号と前号に引き続いて、「朝鮮人戦時労働者研究の現状と課題」を特集した。本研究会は発足以来、この問題に取り組んできた。

昨年7月、佐渡の金山がユネスコ世界遺産に登録された。本号拙論で書いたように、歴史的事実をギリギリ曲げることなく韓国側と難しい交渉を乗り切った登録だった。登録決定後、新潟県知事と佐渡市長がわざわざ歴認研会長である私のところにお礼に来られた。日韓の反日勢力の強制連行・強制労働説に対して、私たちが韓国の真実勢力と協力してユネスコや国際社会に歴史の真実を発信してきたことが、登録成就に少しでも貢献したとしたら、とてもうれしい。

本号でも手堅い実証論文を特集に寄せた、本研究会の若手のホープである長谷亮介研究員が昨年11月、最初の著書『朝鮮人「徴用工」問題 史料を読み解く』を上梓した。12月には関係者において頂き、歴認研主催で出版記念会を持った。歴認研の創設目的の一つが、若手研究者の育成だった。それが着実に進んでいることもうれしいことだ。

また、本号では3人の韓国人学者・ジャーナリストから、論文と報告をいただいた。韓国との研究交流も着実に進んでいる。これもうれしいことの一つだ。

朱益鍾論文は、ポスト尹錫悦政権時代の日韓関係を考える上で必読だ。日韓関係を悪化させてきた日韓の反日勢力の嘘のうち、慰安婦強制連行プロパガンダと労働者強制連行プロパガンダについては、歴認研を含む日韓の真実勢力の反論によって、かなり状況は良くなってきた。ところが、日本の朝鮮統治不法論プロパガンダは、日韓友好関係を壊す地雷として未だに力を失っていない。それが韓国でどのように広がっていったのかがよく分かる好論文だ。(西岡)

昨年10月に行われた第50回衆議院議員

総選挙で、本会とも関わりの深い島田洋一氏(福井県立大学名誉教授)が日本保守党(比例近畿ブロック)から立候補し、見事初当選を果たされた。島田氏には、安倍首相亡きあとの混迷の日本を導く、羅針盤としての使命がある。本会としても、島田氏の今後のご活躍に心から期待したい。

NHKは昭和30年に放映した「緑なき島」で、端島(軍艦島)について実態と異なる映像を流し、これを韓国の公共放送KBSに提供した結果、朝鮮人戦時労働者が劣悪な環境下で強制労働を強いられた証拠として、韓国内で歪められて利用されてきた。

元島民はNHKに謝罪と訂正を求めているが、NHKの稲葉会長は2月12日、元島民に面会して謝罪する意向を表明した。

朝日新聞は80年代から90年代にかけて、慰安婦を「強制連行」したという吉田清治の証言を何度も掲載したが、2014年になってようやく虚偽と認めて取り消し、謝罪した(本誌の李宇衍論文を参照されたい)。

朝日に続き、NHKも謝罪することになれば、慰安婦「強制連行」と朝鮮人戦時労働者「強制労働」で、この国の二大メディアが相次いで失態を認めたことになる。NHKは、元島民が求めている検証番組などは制作しないとしているが、この際徹底的に検証して膿みを出し切るべきだ。(勝岡)

歴史認識問題研究

(年2回発行)

第16号 (令和7年秋冬号)

発行日: 2025年3月19日

発行人: 西岡 力

編集人: 勝岡 寛次

編集部: 歴史認識問題研究会

頒 価: 1,000円

発行所: 〒277-0065 柏市光ヶ丘2丁目1番1号

公益財団法人モラロジー道徳教育財団

西岡 力 研究室

Tel: 04-7173-3197 Fax: 04-7173-3199

印刷所: 株式会社 長正社